



第55号
新城市民病院総務課
新城市字北畑32-1
Tel 0536-23-7852
Fax 0536-22-2850

災害勉強会を実施

6月16日(木)、災害勉強会を行いました。
講師は岩手県釜石市で医療支援活動を行った
宮道医師が務めました。

新城市で、万一、東日本大震災のような災害
が起こった場合に、病院がどのような状況にな
るのかを予測し、病院職員として取るべき行動
や心構えを確認する良い機会となりました。

この地域でも東海地震の発生が心配されて
います。日頃の危機管理により、地震などの緊
急事態に備えています。



復興の狼煙ポスターを展示

6月20日から中央処

置室前の壁面ギャラリー
に復興の狼煙ポスター
を展示しています。
ポスターには被災者

の写真とメッセージが
書かれており、「人間
の強さ」を伝えていま
す。

この復興の狼煙ポス
タープロジェクトは、
被災地、岩手で立ち上
げられ、全国に広まり
始めています。

この復興の狼煙ポスター全28枚を6月
20日～7月1日、7月4日～15日の2回
に分けて展示します。



その後、当院の事
務職員が被災地支援
に派遣された際に撮
影した写真を展示す
る予定です。ご来院の
際に是非ご覧ください。

出前健康講座

6月15日(水)、庭野小学校で出前健康
講座を開催しました。

講師は看護師の伊東運営部長と加倉理
学療法士が務め、「元気のでるリハビリ体
操」についての話の後、実際に体操を体験
していただきました。



ICLS講習

6月18日(土)、ICLS講習を院内で
開催しました。

ICLS講習は、心肺停止状態の患者さ
んが救急車で搬送されたと
きに、迅速に対応できるよ
う訓練しているもので、定
期的に行われており、今回
も各職種の職員が大勢参加
しました。



感染対策勉強会

6月23日（木）、感染症勉強会を行いました。

講師には、磐田市立総合病院の感染管理認定看護師、田中恵さんをお招きし「標準予防策と感染経路別予防策」についてお話していただきました。

参加者は当院の職員以外にも、消防署員など患者さんと接する機会のある者が大勢参加し、体験談を交えた貴重な話に耳を傾けていました。

感染症勉強会は毎月行っており、外部講師をお招きするなどして、院内感染防止策の最新情報収集に努めています。



ノロウイルスに注意

ノロウイルスによる感染症は冬から春にかけて流行しますが、年間を通して発生しています。6月にはノロウイルスによる集団感染が発生しているため、流行時期ではありませんが注意が必要です。

症状

ノロウイルスは1〜2日程度潜伏し、病気を引き起こします。

主な症状は吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、軽い発熱です。通常、1〜2日程度で回復し、後遺症も残りません。

また、感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状が起こるだけの場合もあります。



感染経路

ノロウイルスのほとんどが経口感染によるもので、一次感染と二次感染に分けられます。一次感染は、食品から人へ感染すること、二枚貝を生や加熱不十分の状態でご飯、調理に携わる人を介してノロウイルスに汚染された食品を食べたり、消毒が不十分な井戸水や簡易水道の水を飲んで感染します。

二次感染は人から人へ感染することで、学校などの人と接触が多い場所での感染や、感染者の糞便や嘔吐物から人の手を介して感染します。

予防法

ノロウイルスの感染を予防するためには、手洗いが効果的です。調理を行う前や食事の前、トイレに行った後、下痢などの患者の汚物処理やオムツ交換等を行った後には必ず行いましょう。手洗いは石鹸をよく泡立て、指先や爪、指の股などは汚れが残しやすいので念入りに洗ってください。また、指輪や時計も外して、付けていた部分もよく洗うようにしましょう。



手洗いは清潔なタオルで拭いてください。石けん自体にはノロウイルスを直接撃退する効果はありませんが、手の脂などの汚れを落とすことにより、ウイルスを手指から剥がれやすくする効果があります。

多くの人が触れるドアノブや水道の蛇口などはウイルスがいる可能性があるため、こまめに清浄するようにしましょう。また、食品の中心部分を85℃で1分間加熱することもノロウイルスの感染を予防できます。

